

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム神戸ひまわり

## 目標達成計画

作成日：平成 26年 1月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	廊下を通る方から見える状態であるトイレのカーテンでは、排泄時のプライバシーの確保には難点があると思われます。職員間で改善方法を話し合い、早急な対応を期待する。	早急にカーテンを交換し、配慮に努めたい。	職員間で話し合いをし、安全面も考え、カーテンを長くプライバシーに配慮する事になった。カーテンの取り換えなどもう少し時間がかかる。	2ヶ月
2	26	介護計画作成前に、利用者の現状やモニタリングの内容を報告して、何らかの方法で家族に意見を求め、家族の意向も反映された介護計画書を作られる事を期待したい。	利用者のモニタリングの内容を報告し、家族の意見を頂く。介護計画書作成した後、原案を送付し意見と同意をいただく事で意向を反映させていく。可能な家族は面談し、意向や意見を出して頂き、介護計画書に反映させていく。	介護計画書作成時のマニュアルを作成し、ご家族に説明する。介護計画書原案作成前に意見や意向を出しやすいような工夫をする。できるだけ面談できるご家族はその都度意見をいただけるように努める。	3ヶ月
3	40	一部の利用者ではあるが、同じ介護エプロンを使用していた。利用者の意向を確かめ、エプロンの種類・必要性などについて、職員間で検討していただきたい。	食事の様子をアセスメントし、必要でない利用者についてはエプロンをしない。多少必要であってもタオルなど別の対応を考えていく。必要であるか必要でないかなど、今後職員間で検討していく。	既に職員間で話し合いをして、どうしても必要な方のみ使用しているが、ほとんどの利用者のエプロンについては話し合い、エプロンでない方法に切り替えた。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。